

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン同夢

1. 事業の趣旨・目的

伊賀市は外国人集住都市会議に参加しており、平成 22 年度末現在の外国人登録者数は 4,767 人で、総人口(100,124 人)に占める割合は 4.76%である。

定住化が進んでいく中で、日本語の読み書きが出来ない。病院や行政等の専門的な日本語がわからないという外国人が多い。日本語がわからないということで、行政サービスを利用することや生活していく上での必要な情報を得ることが出来ないなどの問題がある。さらに、コミュニケーション不足から、地域の中で孤立してしまうという状況も生み出されている。また、日本の学校に通う子どもたちは学習言語不足から、勉強が遅れがちにもなっている。

定住外国人は伊賀地域で生活していく住民の一員である。自国の言語や文化を尊重しながら、日本語でコミュニケーションが出来るように支援していくことが求められる。講座を開催することで、定住外国人へのよき理解者となる、やさしい日本語を指導出来る人材を養成することが目的である。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
7月1日	上野ふれあいプラザ	船見 和秀 菊山 順子 和田 京子 乾 光哉 西口 修身 辻 幸則 岩田 昌弘 孫 美知 高瀬 勝	1. 事業の趣旨 2. 委員の紹介 3. 平成 23 年度事業の実施計画について 4. その他	・募集人員は 16 名。 ・基礎講座とする。 ・20 時間以上出席者には修了証を交付する。 ・講座のビデオ撮影。 ・さまざまな媒体を使用して講座開催の広報をしていく。
9月2日	上野ふれあいプラザ	船見 和秀 菊山 順子 乾 光哉 西口 修身	1. 参加申込者名簿 2. 講座カリキュラム 3. 講座終了後のアンケート	・定員 16 名に対して、29 名の応募があった。 ・「意見交換会」では、講座終了後の活動について訊

		辻 幸則 岩田 昌弘 孫 美知 高瀬 勝	4. その他	く。 ・講座終了後の参加者アンケート内容の検討。
12月2日	上野ふれあい プラザ	船見 和秀 菊山 順子 和田 京子 乾 光哉 西口 修身 辻 幸則 孫 美知 高瀬 勝	1. 講座終了後の報告 2. 参加者アンケート結果 3. その他	・参加者は28名。 ・欠席者には講座のDVDとBRを貸し出し、自宅で学習できるようにした。 ・講座の参加率はよかった。 ・来年度もぜひ開催して欲しい。

【写真】



↑「第1回運営委員会 7月1日」



↑「第2回運営委員会 9月2日」

3. 養成講座の内容について

(1) 講座名

にほんご指導ボランティア養成講座(基礎編)

(2) 開催場所

ゆめぼりすセンター

住所: 〒518-0101 三重県伊賀市ゆめが丘 1-1-4 電話:0595-22-0310

(3) 学習目標

定住外国人が暮らしていくために必要な日本語学習出来るように、多文化共生の理念を身につけ、日本語指導できる人材を養成し、すべての人が共に暮らすことのできるユニバーサルな社会づくりをめざします。

1. 定住外国人の現状と理解を深め、多文化共生の理念を身につける

2. 定住外国人に日本語を教えるための知識と技術を身につける
3. 定住外国人とのコミュニケーションを高めるための能力を身につける

(4) 使用した教材・リソース

主教材:「みんなの日本語」等日本語教育に関するテキスト

副教材:教授者が用意する資料

「DVDで授業の流れがわかる 日本語の教え方」清 ルミ 著 アルク

(5) 受講者の募集方法

1. 伊賀市・名張市内市民センター、社会福祉協議会、市民活動支援センター、図書館等へ配布・郵送。
2. 伊賀市・名張市内小中学校へ配布。
3. マスメディアへ掲載。

月 日	募集媒体
7月 15 日	伊賀市社協だより「あいしあおう」 7月号
7月 25 日	みえ市民活動・ボランティアニュース 8月号
7月 26 日	産経新聞
8月 1 日	広報いが市 2011・8・1
8月 7 日	広報なばり 8-1号
8月 27 日	伊賀タウン情報ユー

(6) 受講者の総数 28人

(7) 開催時間数(回数) 25時間 (全 8回)

(8) 参加対象者の要件

1. 外国人への日本語支援活動や交流に関心のある人
2. 日本語教育に関心のある人

(9) 講座内容

回	開催日時	時間数	受講者数	講座名／学習内容	講師
①	9月 10 日 9:50~12:30	2.5 時間	25 人	「オリエンテーション」 「伊賀市の外国人の現状」 ・外国人登録者の推移 ・日本語指導が必要な外国人児童生徒の推移 ・日本語指導者研修会の開催 ・現状と課題 ・今後の課題 「日本語ボランティアとは」	伊賀市教育委員会 事務局 学校教育課 西口 修身 国際交流センター

				<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育に関するクイズ ・地域の外国人に日本語を教える活動 ・参加する上で気をつけたいこと 	日本語教師養成講座 講師 船見 和秀
②	9月17日 9:50~12:00	2.0 時間	25人	<ul style="list-style-type: none"> 「異文化コミュニケーション ・アイスブレイク (名刺交換ゲーム) ・異文化コミュニケーションとは ・文化 ・言語と異文化コミュニケーション ・言語メッセージと非言語メッセージの割合 ・文化をイメージで分類してしまうことは 	国際交流センター 日本語教師養成講座 講師 船見 和秀
③	10月1日 9:50~12:00	2.0 時間	20人	<ul style="list-style-type: none"> 「日本語の語彙・意味」 ・語彙について ・語種 和語、漢語、外来語、混種語 ・位相:語、表現の使い分け ・語の意味 	国際交流センター 日本語教師養成講座 講師 船見 和秀
	19:00~20:00 (※)	1時間	7人	<ul style="list-style-type: none"> 「伊賀日本語の会見学」 ・日本語の会紹介 ・学習のようすを見学 	伊賀日本語の会 代表 菊山 順子
④	10月8日 9:50~12:30	2.5 時間	25人	<ul style="list-style-type: none"> 「日本語の文法」 ・日本語文法の用語 ・動詞について ・い形容詞とな形容詞 ・学習者が疑問に思ったり、まちがえたりしやすい項目 	国際交流センター 日本語教師養成講座 講師 船見 和秀
	13:20~15:30	2.0 時間	24人	<ul style="list-style-type: none"> 外国にルーツをもつ・・・ 「市民の声を聞く」 ・ペルー・中国・ブラジルの 	伊賀日本語の会 代表 菊山 順子

				紹介 ・日本で生活するようになった理由 ・日本人のいやなところ ・日本のいいところ	
⑤	10月15日 9:50~12:30	2.5 時間	23人	「教材・教具」 ・日本語を教えるための教材・教具 教材教具、教育機器 ・日本語学習者が使う教科書 レベル別、対象者別、スキル別、その他	国際交流センター 日本語教師養成講座 講師 船見 和秀
⑥	10月22日 9:50~12:00	2.0 時間	23人	「日本語の教え方」 ・学習者が日本語を必要とする場面 ・シラバスとカリキュラム シラバスを具体的にどう実施するか	国際交流センター 日本語教師養成講座 講師 船見 和秀
	12:50~15:00	2.0 時間	21人	・授業を見てみよう 『DVD で授業の流れがわかる 日本語の教え方のコツ』 清 ルミ 著 ・実際の活動に結び付ける分析をしよう ・練習を考える 一定型練習 (パターンプラクティス)ー	
⑦	10月29日 9:50~12:00	2.0 時間	23人	「日本語の教えるための授業」 ・グループワーク:素材を活かすためには どのような素材か。 どのような日本語を教えることが可能か。 ・全体でアイデアを共有しよう	国際交流センター 日本語教師養成講座 講師 船見 和秀

				うー発表ー	
⑧	11月5日 9:50~12:30	2.5 時間	22人	「模擬授業」 ・学習者8人に対して、テキスト『みんなの日本語』を使用した授業	国際交流センター 日本語教師養成講座 講師 船見 和秀
	13:20~15:30	2.0 時間	21人	「意見交換会」 ・講座に参加した動機 ・今後の活動について	国際交流センター 日本語教師養成講座 講師 船見 和秀
	19:00~20:00 (※)	1時間	16人	伊賀日本語の会見学	伊賀日本語の会 代表 菊山 順子

※参加者を2グループに分けて、実施するために設定。

【写真】



↑「講座のようす」

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

講座参加者:28名 アンケート回答者:22名

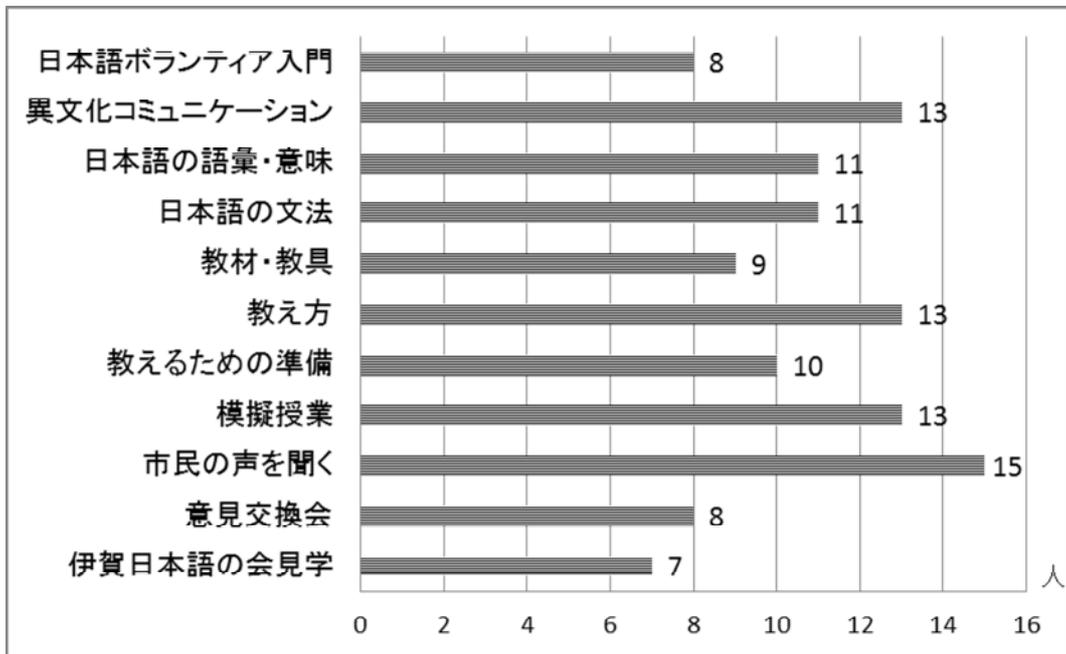
(1)参加者の年代

20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
2人	4人	4人	7人	3人	1人

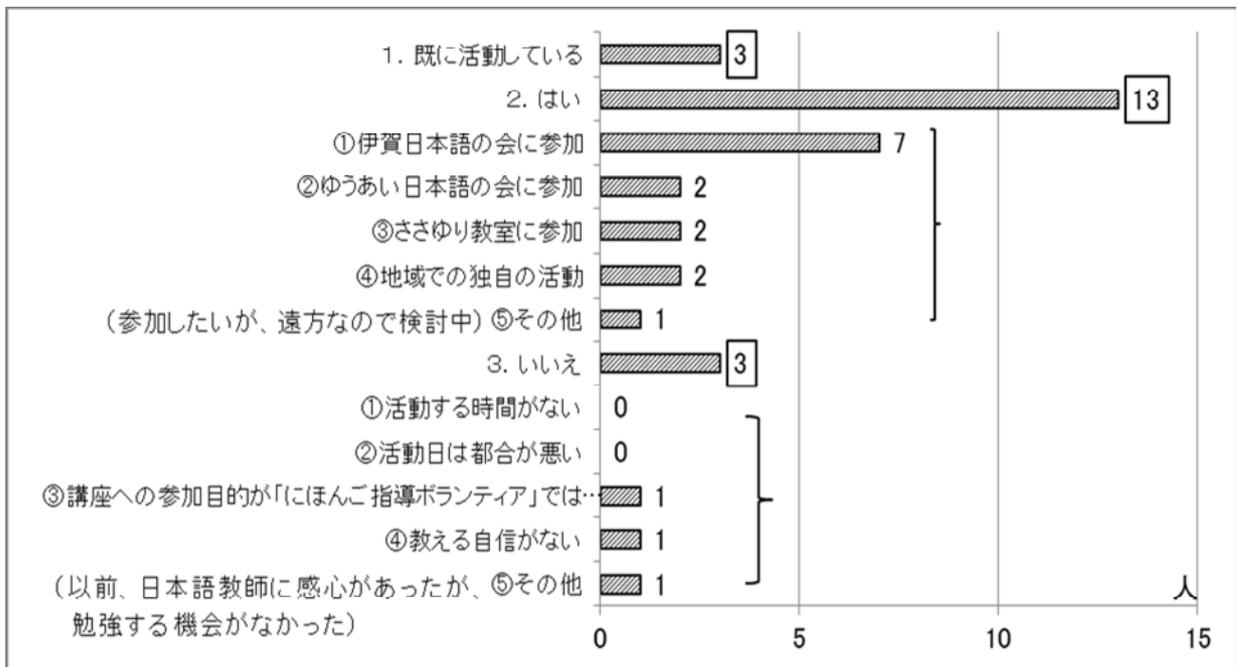
(2)講座に参加して

よかった:20名 まあまあよかった:2名

(3) 関心のあった内容 (複数回答)



(4) 「にほんご指導ボランティア」としての活動を考えているか



(5) 講座に参加した感想

- ・楽しかったです。
- ・生きる術を少し見つけることができました。日本語を通して、たくさんの出会いを求めて少しがんばります。
- ・先生の講義がたいへんおもしろく、普段何気なく使っている日本語の難しさを初めて知りました。3年ほど前に少し大きな病気をしたので、これからは少しは自分の好きなことをドンドンやりたいと思い、参加しました。すごく楽しく、日本語は深いなと思いました。また、外国人はすごく勉強されているのがわかります。何気なく使っていることばに法則があるのもおもしろかったです。日本人なので、よかったです。
- ・講師の講座には3回目の参加となりましたが、以前に比べ教え方のレベルアップが見られ、とても参考になりました。自分としても日々教え方のスキルアップが必要で、これに努力すべきだと感じました。
- ・以前から、日本語教育には興味があったが、講座を受けてより一層興味が深まりました。何より、船見先生の授業が毎回楽しく、通学が楽しみでした。先生の熱意が伝わってくる授業だったと思います。本格的に日本語教師になりたいと思うきっかけになりました。無料とはとても思えないような充実した内容だったと思います。今後も無料で、中級、上級と開講されたら、ぜひ受講したいと思います。どうもありがとうございました。
- ・とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。
- ・ただ先生の話聞いて、ノートを取るだけの座学ではなく、活動的で、笑いもあり、とても楽しくおもしろく講座を受けることができました。

② 実施主体からの研修内容結果評価

- ・定員16名の枠を超えて、28名の参加があった。参加対象を緩やかにしたことや参加しやすい授業時間設定、さまざまな媒体を使用した広報の結果であり、行政の協力も大きかった。
- ・講座欠席者には撮影したDVDやBRを貸し出して、自宅で学習出来るように支援をした。その結果、28名中、20名に修了証を交付することが出来た。
- ・初心者向きのたのしく、わかりやすい基礎的な授業としたので、出席率は高かった。さらに、より学びたいと、日本語教師を目指そうとする人が6人であった。
- ・「にほんご指導ボランティア」としての活動を考えている人は16人であった。
- ・定住外国人から直接話を聞くことで、身近に感じ、理解を深めることが出来た。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・「ボランティアスキルアップ研修」への参加支援
- ・日本語ボランティア活動への参加支援

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

- ・来年、伊賀市内において「ボランティアスキルアップ研修」が開催される予定

② 研修後の人材活用

- ・伊賀市文化国際交流協会主催:「学習支援教室ささゆり」学習指導
- ・「伊賀日本語の会」日本語指導ボランティア
- ・「ゆうあい日本語の会」日本語指導ボランティア
- ・名張市小中学校 学校生活支援ボランティア

(12) 今後の課題

- ・参加者の集まれる場や継続した活動を支援できるしくみづくり
- ・継続して学習出来る場として、スキルアップ研修等の開催
- ・日本語ボランティアのネットワークづくり